

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：認知症高齢者グループホーム 宇賀の杜・里 楽舎
認知症高齢者デイサービス 宇賀の杜 楽舎

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和7年3月26日（水） 14時～15時

会場：認知症高齢者グループホーム 宇賀の里 楽舎 相談室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	高齢者あんしん支援 センター職員	1人
利用者家族	1人	出雲市職員	0人
地域の代表	0人	グループホーム 施設長・管理者他	3人
代表取締役	1人	デイサービス 管理者	0人

（議題）

- ・ 出席者紹介
- ・ グループホーム・デイサービス 宇賀の杜 楽舎の入居者利用状況説明
メイン議題「作品作りや活動の支援を活かし、地域とつながる」
- ・ 皆様からのコメント・アドバイス

（報告事項）

グループホーム杜、グループホーム里、デイサービスともに特に報告事項はありません。

○グループホーム 宇賀の杜 利用状況（2024.9.20 現在）

入居者 18 名（東舎 9 名・西舎 9 名）

男性 4 名 女性 14 名 平均要介護度 2.42

最高年齢 98 歳 最低年齢 76 歳 平均年齢 86.3 歳

○デイサービス 宇賀の杜楽舎 利用状況

現在登録者数 25 名

男性 12 名 女性 13 名 平均要介護度 2.22

最高年齢 94 歳 最低年齢 73 歳 平均年齢 83.8 歳

○グループホーム 宇賀の里 利用状況

入居者 9 名

男性 3 名 女性 6 名 平均要介護度 2.33

最高年齢 94 歳 最低年齢 74 歳 平均年齢 87 歳

○メイン議題

「作品作りや活動の支援を活かし、地域とつながる」

今回は利用者様の壁画作りや音楽活動、行事についての支援を活かし地域とつながる楽しみのある生活場面など説明文や写真にて報告させていただきました。

作品作りではこれから訪れる季節を感じていただき、食事や行事にも繋がっており、毎日の生活の中での、役割作りや得意な事として継続した支援となっています。作品は近くの郵便局や秋の地域の文化祭へ展示して頂くことで成果を実感された利用者様や地域の皆様方に喜んでいただいております。

毎日の日課として音楽活動を積極的に取り入れ、季節の歌や聞いたことのある馴染みの歌を歌っています。「まだこの歌を覚えている」という自信回復に繋がり、音楽が過去の記憶と結びつきやすい特徴を利用して認知症の方に音楽を聴いてもらったり、歌ってもらったりすることで脳を刺激し記憶を呼び起こしコミュニケーションの充実を図る支援となっております。

まとめ

楽舎では作品作りや活動を活かして認知症になって失われた尊厳や自信を取り戻していただき、理念である「一瞬の笑顔」を求めて心理的安定を保ち認知症の進行を予防しながら、充実した毎日を笑顔で過ごしていただける支援を今後も続けていきたいと思っております。

〈利用者家族様代表（〇様）〉

- ・ 毎月の手書きのお手紙を取り繕うことなく書いてあり今の母の姿として感じています。母から年賀状が届いた時は初めての母からの年賀状にビックリしました。

〈楽舎施設長より〉

- ・ デイサービスは男性の利用者様が多くなり、大きい声がでるなどケアでは難しい場面もあるが様々な取り組みをすることで利用していただいている。以前は家族会を行い家族へ鶴を送り、家族の方から形見だけんと言われたこともあった。感染症の影響や地域の変化から活動が限られる場面もあるが楽舎も事業所として20年近く経ち地域のかるた作りに参加したり、地域の閉校する小学校へプレゼントを贈ったりして喜んでいただきました。近隣の小学校が統合の為なくなり、さみしくなりますが新しい小学校での取り組みに期待したいと思います。

（平田高齢者あんしん支援センター様より）

- ・ 根気のある作品作りの製作期間はどのくらい時間がかかりますか？

⇒グループホーム杜より

一ヶ月くらいかかり、前の月から担当者を中止に取り掛かっています。

（取締役員より）

- ・ 成果が喜びへとつながっておられ良い取り組みだと思いました。

（楽舎より）

- ・ 貴重なご意見やアドバイスを頂きありがとうございました。
楽舎では今後とも利用者様の自立支援を大切にして、生活を支える姿勢で毎日を笑顔で安全に過ごしていただける支援を続けていきたいと思っています。

以上